

人体の構造と機能

専門基礎分野

授業科目	生命に必要なエネルギー	講師	氏名	①松尾千穂 ②浦野朱美 ③内藤直美	開講年次	単位・時間	
			所属	①(なし) ②病院 ③専任教員			
			実務経験	①②管理栄養士 ③臨床看護師			
科目のねらい	看護の対象であるあらゆる人々の健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶ。また、健康障害と栄養療法について疾患系統別の食事療法の実際について学び、栄養管理に必要な知識を身につける。						
到達目標							
知識・技術	1. 生命を維持する栄養の働きが説明できる。 2. 栄養素の成分と体の化合物について理解し述べることができる。 3. エネルギー産生の仕組みや合成について理解し、述べるができる。 4. 各種疾患の患者の食事療法の基本が説明できる。						
思考判断・表現	1. 栄養素の化学反応を図式化できる。 2. 食品のカロリー計算ができる。 3. 栄養食事療法におけるチーム医療での看護師の役割が説明できる。						
主体的学習態度	1. 日本の食文化を学び、現代の食生活について質問できる。 2. グループワークで積極的に意見交換できる。 3. 自己の栄養状態と日々の食事について調べることができる。						
科目評価	定期試験(筆記)70% レポート20% 単元別テスト10% 合計100%						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学 (メデイカ出版) ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学 (メデイカ出版)						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他			
1	1. 人間の食事と食文化	○			文化人類学	日本の食文化と世界の食文化について事前に調べて講義に臨む。	
2	2. 人体と栄養生化学 1) 代謝とは (1) 代謝 (2) 異化と同化 2) 生命維持に必要な栄養素の構造と性質 (1) 糖質 (2) 脂質 (3) アミノ酸と蛋白質 (4) 核酸とヌクレオチド (5) ビタミン	○			松尾千穂		
3	3. さまざまな代謝 1) 糖質代謝 2) 脂質代謝 3) 蛋白質とアミノ酸代謝 4) 核酸・ヌクレオチド代謝	○				1. 異化と同化 2. 以下の代謝について小テスト。 糖質、脂質、蛋白質とアミノ酸、核酸・ヌクレオチド代謝	
4	4. 栄養とは 1) 栄養と栄養素 2) 栄養素の分類 (1) 蛋白質 (2) 炭水化物 (3) 脂質 (4) ミネラル (5) ビタミン (6) 水 5. 食品成分と食事摂取基準	○				日常生活から見るからだ	(1) 蛋白質 (2) 炭水化物 (3) 脂質 (4) ミネラル (5) ビタミンの働きについて単元別テスト
5	6. 療養生活と栄養 1) 運動と栄養 7. 成長段階と栄養 1) 乳幼児 2) 学童・青年期 3) 壮年期・向老期 4) 老年期 (PEM) 5) 妊産婦	○				発達心理学 各専門分野	
6		○					
7	8. 療養生活と栄養 1) 非経口栄養 (1) 経管栄養 (2) 静脈栄養	○			療養生活援助技術Ⅱ		
8	9. 疾患と治療食 1) 栄養代謝疾患の栄養食事療法 (糖尿病・代謝疾患) 2) 腎臓病・泌尿器疾患の栄養食事療法 3) 呼吸器・循環器疾患 (心疾患・高血圧)	○					1)～4) まで小テスト
9		○			呼吸、循環、血液の病を看る 消化及び排泄の病を看る 体の調節と神経の病を看る		
10	4) 血液疾患患者の栄養食事療法	○					
11	10. 栄養とチームNSTの実際	○			浦野朱美		
12	11. 栄養食事指導の実際(家族や友人への指導)	○	○				食事栄養指導作成し提出 (レポートとして評価)
13		○	○				
14	12. 栄養を調べる (前日に摂取した食事の写真をとり、食品交換表を使いながらカロリー計算を行う)	○					自分の必要なカロリーと比較してアセスメント後レポート提出
15	まとめ	○			内藤直美		